

FUJI OIL GROUP 2016

第88期 年次報告書

2015.4.1～2016.3.31

私たち不二製油グループは、
食の素材の可能性を追求し、
食の楽しみと健康に貢献します。

 **不二製油グループ本社株式会社**

FUJI OIL NEWS

相模屋食料と合併会社 「だいずオリジン株式会社」を設立

相模屋食料の新しいマーケットを創造していくマーケティング力と、不二製油グループの食品素材の技術力を融合し、生活者に常に寄り添いながら「おいしさと健康」にこだわった新発想の大豆加工食品の開発を推し進め、大豆の可能性を具現化した新しい世界を切り開いていくことを目指します。

新会社「だいずオリジン」は、地球と人の健康を考え、世界中のさまざまな人びとのニーズに応えた新しい大豆加工食品を提供してまいります。大豆で地球を救うという使命感をもち、大豆の新たなおいしさを、日本から世界へ発信してまいります。



(左) 相模屋食料(株)鳥越社長 (右) 当社社長清水

「おいしい健康 共創フォーラム」開催

少子高齢化が進む日本の食品市場は、「おいしさ」と「健康」の両立が求められる時代になってきています。不二製油株式会社は、「人と社会と地球にやさしい」食、「おいしさと健康」を兼ね備えた食で、お客様や消費者とともに新しい価値を創ることを目指し、「おいしい健康共創フォーラム」を開催。メーカーや店舗オーナーなど幅広い業界のお客様と消費者の方々にお集まりいただき、トークセッションやプレゼンテーションを行いました。



「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」 行動宣言に、当社代表取締役社長 清水洋史が賛同

不二製油グループは事業を通じて社会貢献し続けるため、多様な人材と、其々の能力が最大限発揮される風土づくりをとおして、新製品・新市場の創出を促進します。女性活躍推進もその一環と考えており、具体的な目標を掲げ、そのもとで制度改革や社内セミナー



を実施しています。

このたびの「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」行動宣言への賛同を弾みに、当社グループとしても女性の活躍を一層推進してまいります。

持続可能なパーム油調達のための活動を展開

パーム油調達に関する環境・人権問題の要因の一つとして、一部の中・小規模農家による生産性の低い農園運営が指摘されています。これを受け、当社グループは持続可能な調達を目指し、原材料製造企業とWild Asia (NGO) による小規模農家支援プロジェクト「WAGS (Wild Asia Group Scheme)」に参画、当社グループのサプライチェーンの一部である小規模農家に、持続可能で効率的な農園運営を実現するため、4年間の教育支援をとおして、生産性・労働環境・トレーサビリティの向上を図ります。現地との対話を重視した継続的支援を実施していきます。また、「責任あるパーム油調達方針」を制定しました。



持株会社体制のもと、 グローバル市場のニーズにスピーディーに対応

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り御礼申し上げます。このたびの熊本地震で被災された方々にお見舞いを申し上げますとともに、1日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

当期の概況と次期の見通し

当期（第88期）は中期経営計画「ルネサンス不二2017」の戦略に沿って、ブラジルのハラルド社の株式を取得し、チョコレート用油脂とコンパウンドチョコレートに注力する体制を整えました。また、次世代の中核事業とすべくUSS製法によるプレミアム豆乳をミラノ万博で紹介するなど、大豆たん白製品の販売戦略を強化しました。その結果、第88期の売上高目標3,000億円を僅かに下回りましたが、増収増益となりました。

次期（第89期）は、油脂ではサプライチェーンをより一層強化し、CBEをはじめとするチョコレート用油脂の拡販を図るとともに、DTRなど新規技術による健康・栄養油脂分野にも注力。将来的にはコンパウンドチョコレート世界一を目指して力強く事業を展開していきます。また、製菓・製パン素材はアジアR&Dセンターの活用による新規市場開拓や既存市場での採算改善に取り組むとともに、ハラルド社のブランド力、販売網を活用したブラジル市場の開拓にも力を注ぎます。大豆たん白は事業再構築や収益構造改革を進め、USS製品群では相模屋食料との連携による新製品戦略を強化していきます。このような活動により第89期は売上高3,100億円、営業利益175億円と、さらなる増収増益を目指し

ます。

将来に向けた事業活動について

昨年10月の持株会社体制への移行は、世界経済の大きな変化や急速なスピードで進展するグローバル化に対応することが大きな目的です。移行後の半年間で認識した課題を一つずつ丁寧に、ときにはドラスティックに解決していくことで、グローバル市場で生き残れる企業への変革を目指します。

新体制のもと、本格的にスタートを切る第89期のスタートにあたって策定したローリング中期経営計画「ルネサンス不二2018」では、おいしさと健康で社会に貢献するという中長期ビジョンのもと、さらに当社グループの強みを伸ばしていきます。その一例として、生活者視点で市場をとらえるために、最高マーケティング責任者（CMO）を設置。まずは私が兼務することで、当社グループ内外にマーケティングの重要性を認知・促進します。また、「おいしさと健康」で社会に貢献する企業であることを明確に発信する担当取締役も任命しました。単に市場の特性をリサーチするだけではなく、おいしさを感じる食のシーンなど「コトづくり」こそがマーケティングの基本と考えております。エリアごとの責任者が地域統括を進め、地域のニーズにスピーディーに、そしてタイミングよく商品を投入するとともに、新たな食文化ともいえる「コト」を提案し市場への浸透を図っていく考えです。

また、将来にわたり持続的に発展するためには、新規事業創出や人材育成も欠かせません。今夏には阪南事業所内に不二サイエンスイノベーションセンターを開設。現業にとらわれず市場にイノベーションを起こす新製品・新規事業の創出を図



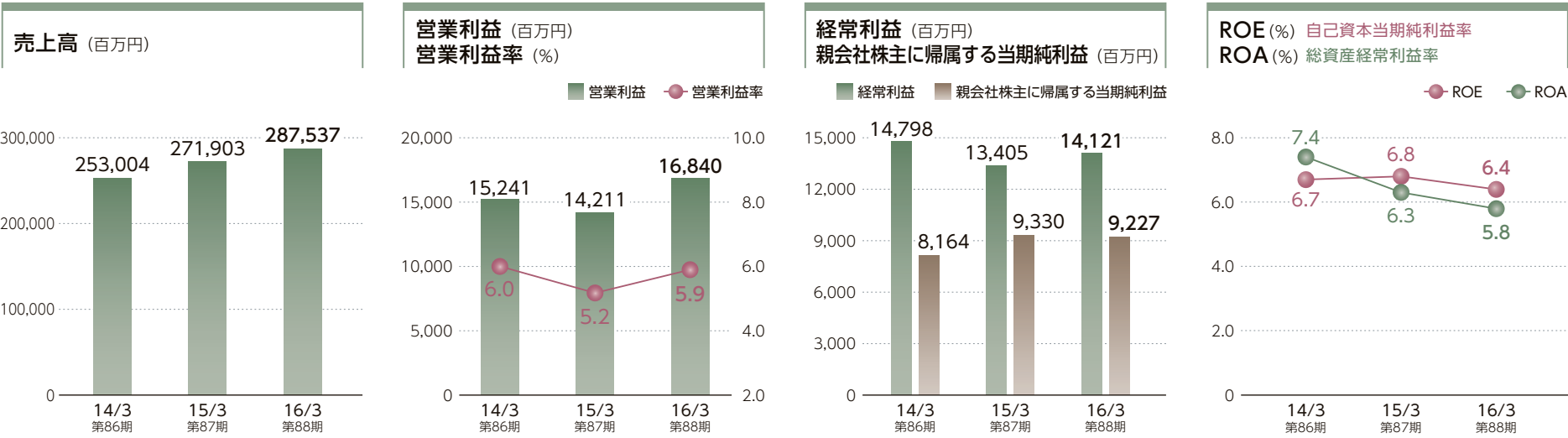
代表取締役社長 清水 洋史

ります。人材育成では、海外で活躍する社員をはじめ、将来の経営層やマネジメント層を育成するための専門的教育にも力を注ぎます。

昨年6月に施行された企業統治の指針を示すコーポレートガバナンス・コードへの対応にあたり、ステークホルダーとの信頼関係の構築が重要であると考えています。まずは相手の立場に立って物事を考え対話をより一層重視することを基本に、同コードの趣旨に即して、海外の投資家様を含めた株主の皆様にも、分かりやすい説明を心がけていく考えです。一方、株主還元については配当性向30%を目途とし、今後も安定的な配当を継続しながら、株主様への責任を果たしていく所存です。株主の皆様には、今後とも当社グループの事業にご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

Consolidated Financial Highlights

連結財務ハイライト

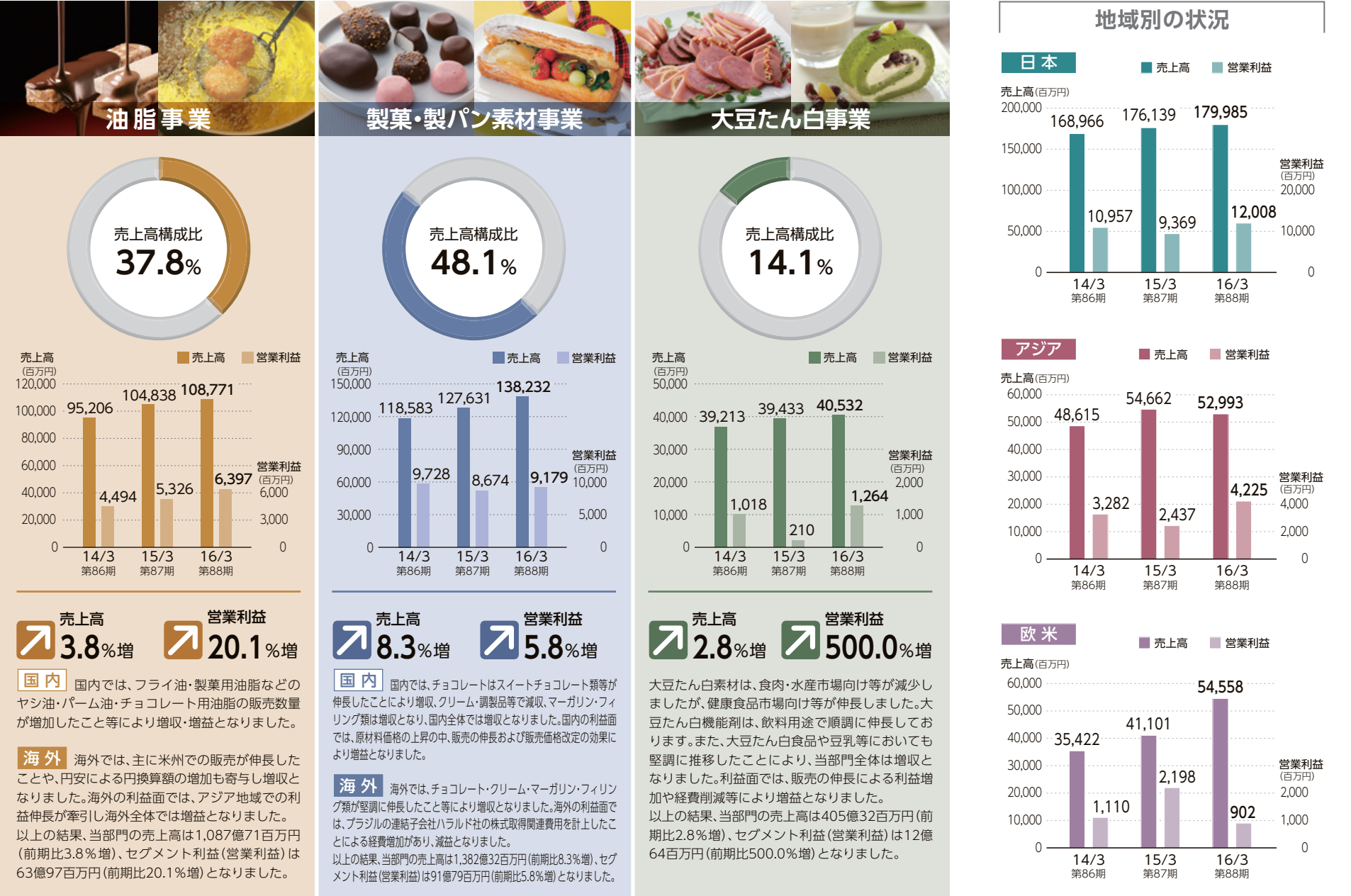


第89期連結業績予想

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
310,000百万円	17,500百万円	16,000百万円	10,000百万円

Highlights By Segments & Areas

セグメント&地域別の概況



Corporate Profile & Stock Information

会社&株式情報

会社概要

(2016年3月31日現在)

設	立	1950年(昭和25年)10月
資	本	金
全グループ従業員数		5,141名
不二製油グループ本社従業員数		48名

役員

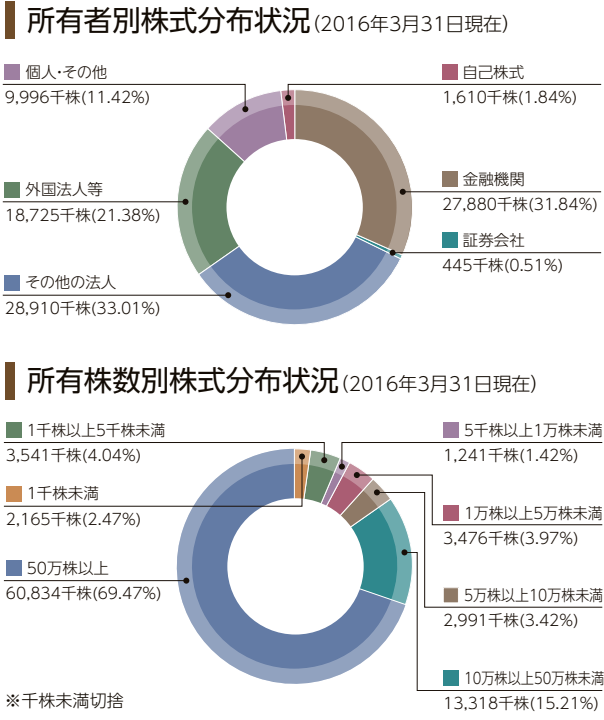
(2016年6月23日現在)

代表取締役社長	清水洋史
取締役副社長	久野貢
取締役副社長	吉田友行
取締役常務執行役員	前田裕一
取締役常務執行役員	小林誠実
取締役常務執行役員	木本実夫
取締役常務執行役員	酒井幹夫
取締役常務執行役員	松本智樹
社外取締役	三品和広
社外取締役	田路則子
常勤監査役	古城茂穂
常勤監査役	隈部博史
社外監査役	松本稔
社外監査役	草尾光一

主要海外グループ会社

(2016年3月31日現在)

フジオイル ヨーロッパ^{※1}
フジ ベジタブル オイル^{※1}
フジオイル アジア^{※2}
不二富吉(上海)企業管理有限公司^{※2}
インターナショナル オイルズ アンド ファッツ
ハラルド
フジオイル(シンガポール)
ウッドランド サニーフーズ
パルマジュ エディブル オイル
フジオイル フィリピン
フレイアパディ インドタマ
ムシム マス-フジ
フジオイル(タイランド)
フレイアパディ(タイランド)
3F フジフーズ
不二製油(張家港)有限公司
吉林不二蛋白有限公司
山東龍藤不二食品有限公司
上海旭洋綠色食品有限公司
天津不二蛋白有限公司
不二富吉(北京)科技有限公司



株主様へのご優待

1.対象となる株主様

毎年3月31日現在の当社株式100株以上
ご所有の株主様

2.優待の内容

ご所有株式数に応じて、以下の優待品を毎年11月上旬頃にお届けいたします。

ご所有株式数	優待品	
100株以上	不二製油グループ製品詰合せ	1,500円相当
1,000株以上	不二製油グループ製品詰合せ	3,000円相当
5,000株以上	不二製油グループ製品詰合せ	4,000円相当

*住所変更等のお手続きは、お取引のある証券会社にお問い合わせください。

株式に関するご案内

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月開催
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人 および特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
公告掲載新聞	日本経済新聞
上場証券取引所	東京
証券コード	2607

証券会社でお取引をされている株主様

お手続き
お問い合わせ先

お取引のある証券会社

お手続き内容

住所・氏名等のご変更、単元未満株式の買取請求、配当金の受領方法・振込先のご変更等

留意事項

未払配当金のお支払、郵送物の発送と返戻に関するご照会につきましては、株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社証券代行部が承ります。

特別口座に記録されている株主様

お手続き
お問い合わせ先

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

〈郵便物送付先〉

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

〈電話照会先〉

0120-782-031

〈ホームページ〉

http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

お手続き内容

特別口座から一般口座への振替請求、住所・氏名等のご変更、単元未満株式の買取請求、配当金の受領方法・振込先のご変更、未払配当金のお支払、郵送物の発送と返戻に関するご照会等

特別口座での
留意事項

特別口座では、株式の売却はできません。売却するには、証券会社に口座を開設したうえで株式の振替手続きが必要となります。

株式に関する「マイナンバー制度」について

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きが必要となります。このため、株主様から、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先

●証券会社でお取引をされている株主様
お取引の証券会社までお問い合わせください。

●特別口座に記録されている株主様
左記特別口座管理機関までお問い合わせください。

配当金を「配当金領収証」で受領されている株主様へ

配当金のお受け取り方法には、お受け取り忘れがなく迅速な下記3つの銀行口座等への振込方法もございます。この機会にぜひご検討くださいますよう、お願い申し上げます。

*変更のお手続きに関しましては、お取引のある証券会社等に直接お問い合わせください。少額投資非課税口座(NISA口座)を開設し、非課税の適用を受けるためには、株式数比例配分方式をお選びください。振込先口座に「ゆうちょ銀行」の口座をご指定いただくことができない銘柄もございます。

①株式数比例配分方式
配当金を証券口座で受け取る方法。

②登録配当金受領口座方式
配当金をご指定の単一金融機関口座で受け取る方法。

③個別銘柄指定方式
配当金を銘柄ごとにご指定の金融機関口座で受け取る方法。

※配当金領収証方式の場合は、受領期間内にお受け取りください。(やむを得ず期間が経過してしまった場合は、三井住友信託銀行株式会社証券代行部宛てにお問い合わせください。)

※お支払開始日から会社が定めた期間を経過した配当金につきましては、お受け取りができなくなりますのでご注意ください。